

試験の流れ



令和7年度 試験概要

選考の種類	第一次選考	第二次選考	小学校教諭	中学校教諭	高等学校教諭	特別支援学校教諭	養護教諭	栄養教諭	併願可否
一般選考	●一般教養 ●専門試験(筆記試験)		●	●	●	●	●	●	可※2
特別選考	I 障がいのある者を対象とした選考	●一般教養 ●専門試験(筆記試験)	●	●	●	●	●	●	可※2
	II スポーツ・芸術の分野に秀でた者を対象とした選考	免除※1	—	●	●	—	—	—	不可
	III 現職教諭を対象とした選考	免除	●	●	●	●	●	—	不可
	IV 県内公立学校の講師等を対象とした選考	免除	●	●	●	●	●	—	不可
	V 英語力に優れた者を対象とした小学校教諭選考	免除	●	—	—	—	—	—	可※3
	VI 普通免許状を有しない社会人実務経験者を対象とした選考	●一般教養 ●専門試験(筆記試験)		—	●	●	—	—	—

※1…スポーツ・芸術の分野に直接関連する教科(科目)の志願者のみ、第一次選考のすべてを免除します。
 ※2…一部の試験区分については、併願することができません。 ※3…小学校教諭の一般選考へのみ併願が可能です。

試験区分	採用予定数
小学校教諭	145人程度
中学校教諭	50人程度
高等学校教諭	25人程度
特別支援学校教諭	25人程度
養護教諭	5人程度
栄養教諭	2人程度

※実施する教科(科目等)は実施要項を参照してください。

★【小学校のみ】第一次選考の専門試験(筆記試験)で傾斜配点を行う数学・理科重視型を実施しています!
 ※傾斜配点を行わない「標準型」との選択制です。
 ★英語の一定以上の資格所有者は第一次選考の免除または加点制度があります!
 ★出願時点で複数免許状所有者は第一次選考の専門試験(筆記試験)に加点できる場合があります!
 ※普通免許状の種類(専修免許状、一種免許状、二種免許状)は問いませんが、特別免許状及び臨時免許状は除きます。

詳細は実施要項をご覧ください。



令和6年度 教員採用試験の実施状況

試験区分	採用予定数	受験者数	A登載者数	合格倍率
小学校教諭	150	546	203	2.7
中学校教諭	40	308	49	6.3
高等学校教諭	45	224	37	6.1
特別支援学校教諭	25	72	23	3.1
養護教諭	10	110	15	7.3
栄養教諭	—	—	—	—
合計	270	1,260	327	3.9

※受験者数=一次試験受験者数+一次試験免除者数-志願試験区分A登載者のため併願試験区分A登載非該当者数
 ※栄養教諭については令和6年度採用試験の実施はありませんでした。

令和7年度採用

鳥取県公立学校 教員採用試験



志願者募集

とっとり教採 アンバサダーによる プロモーション動画 公開中!

出願期間 (電子申請のみ)

令和6年 3月25日(月) 正午~ 4月22日(月) 正午

第一次選考試験 小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭・特別支援学校教諭・養護教諭・栄養教諭

令和6年 6月8日(土) 鳥取・関西の2会場で実施!

実施要項の説明を鳥取県教育委員会公式YouTubeにて オンデマンド配信しています!ぜひご覧ください。

※質問等がございましたら下記問い合わせ先へご連絡ください。



鳥取県教育委員会 教員採用試験情報



県教委YouTube 県教委X(旧Twitter) 共済(福利厚生)

問合せ先

鳥取県教育委員会事務局 教育人材開発課

〒680-8570 鳥取市東町1丁目271番地
 TEL 0857-26-7513

鳥取県の情報

- 人口：536,066人 (令和6年1月1日現在)
- 市町村数：19市町村



● 公立学校数等

	学校数	学級数	児童・生徒数	教員数(本務者)
小学校	113	1,510	26,847	2,232
中学校	50	614	13,138	1,244
義務教育学校	6	72	977	145
高等学校	24	318	10,395	1,096
特別支援学校	8	232	724	612

令和5年度「学校便覧」より

鳥取県公立学校教員として求める教師像

- よりよい社会の実現に向け、自他の価値を尊重し、自らの人間性や創造性を高めていく教師
- 学校教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、学び続けることができる教師
- 児童生徒に対する理解を深め、自発的・主体的な成長や発達を支援することができる教師
- 教科等の専門的知識・技能を有し、児童生徒の主体的な学びを支援することができる教師
- 学校組織の一員として、学校内の多様な人材、家庭や地域、関係機関等と連携・協働を図ることができる教師



鳥取県の教育の特色

国より一歩進んだ少人数学級の導入！

人間関係を築く力の育成、学ぶ意欲の向上、特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応など

▶ 全学年への少人数学級導入で、**きめ細かい指導を実施し「子育て環境日本一」を実現！**

全国初！ 30人学級を小学校全学年で実施予定

令和7年度完成(予定)

小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
30	30	30	30	30	30	33	35	35

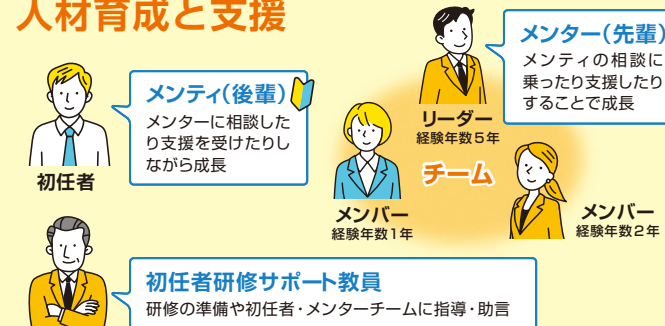
※令和4年度から4年かけて、小3から小6について段階的に30人学級を実施。

【参考】国の基準令和7年度完成(予定)

小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
35	35	35	35	35	35	40	40	40

※国は令和3年度から5年かけて、小学校全学年を段階的に35人学級に引き下げます。

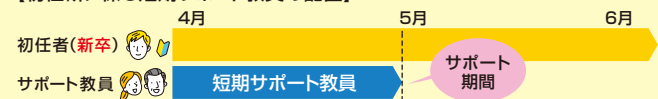
「とっとりメンター方式」による人材育成と支援



「とっとりメンター方式」とは

校内における初任者研修を活用した人材育成システムのこと。初任者と先輩教員、サポート教員がチームを組み、ともに成長していく仕組み。

【初任研に係る短期サポート教員の配置】

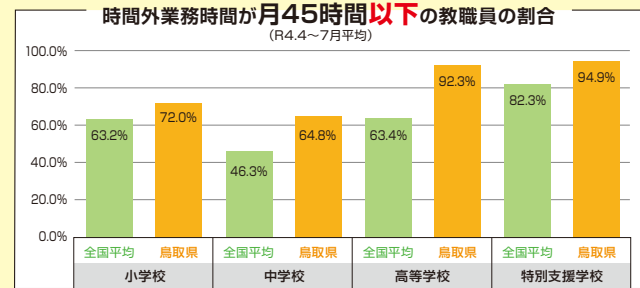


働き方改革を推進しています！

学校業務カイゼンプランの策定

全公立学校を対象とした計画(学校業務カイゼンプラン)を策定し、学校における働き方改革に本気で取り組んでいます！

目標 時間外業務が月45時間、年間360時間を超える長時間勤務者の解消



※文部科学省による、令和4年12月公表「令和4年度 教育委員会における学校の働き方改革のための取組状況調査」の数値をもとに鳥取県の状況と比較

体験的学習活動等休業日の導入

「体験的学習活動等休業日」とは、家庭及び地域における体験的な学習活動その他の学習活動のための休業日のこと。

- 児童生徒が保護者の方等と一緒に体験的な学習活動等に参加することを通じて、心身の健全な発達を一層促進する環境の醸成
- 保護者の有給休暇の取得促進
- 学校休業日の分散化

GWは先生たちも、休暇取得により10連休が可能になるね！

令和6年度の導入例

4月				5月						11月			
27日	28日	29日	30日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	1日	2日	3日	4日
土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	金	土	日	月
休業日	休業日	昭和の日	休業日	休業日	休業日	憲法記念日	みどりの日	こどもの日	振替休日	休業日	休業日	文化の日	振替休日
10連休										4連休			

“とっとり教採アンバサダー”からのメッセージ

とっとり教採アンバサダーとは??

教員採用に係り、鳥取県で教員になることの魅力等を志願者目線で情報発信する令和5年度の新規採用教員から選ばれた6名の教員です。



小学校教諭 ニックネーム おこめ (県外出身)

新しい土地での生活に、とても大きな不安を感じながら4月のスタートを切りました。しかし、周りの先生方がとても優しく、いつも丁寧に教えてくださるので、安心して働くことができています。毎日、何度も子どもたちに「先生！見て！」と声をかけられ、成長と一緒に喜んだり、楽しいことを共有して一緒に笑ったりすることが日々の私の働く活力になっています。私は県外出身者ですが、温かい人、美味しい食べ物、豊かな自然が揃った鳥取県を教員生活のスタートの地を選んで良かったと強く思っています。ぜひ、一緒に鳥取県で充実した教員生活を送りましょう。



小学校教諭 ニックネーム リッキー (県外出身)

初めは、違う職に就こうと考えていましたが、教育実習を通して教員になりたいと強く思い小学校教諭を志望しました。新しい地での教員生活に不安もありましたが、先輩方に助けていただきながら、やりがいのある毎日を送っています。鳥取県はリフレッシュできる場所もたくさんあり、休日は、夏は海、冬はスノーボードと充実した日々を過ごしており、人も温かく食べ物も美味しく、住みやすく、とても良い場所です。ぜひ、一緒に鳥取県で働きましょう。



中学校教諭 ニックネーム いなほ男子 (県内出身)

「人と人が繋がりが、交流の輪が広がっていく。」鳥取県で教員をする魅力はここにあると思います。先輩方は温かく接して下さいますし、勤務校以外の先輩教員にも関係を繋げて下さり、悩みを解決できたときもありました。人口が少ない鳥取県だからこそ、人と人が繋がりがやすく知り合いが増え、関わることで「楽しさ」が生まれることを日々実感しています。また、鳥取県では少人数学級を実施していることもあり、生徒一人一人との関係を密にすることができます。小さな変化・成長に気づき、私自身もパワーをもらっています。人との「ご縁」を大切に鳥取の温かさを是非味わってください！



高等学校教諭 ニックネーム かんた (県内出身)

鳥取県はとても素敵な県で、魅力は食や温泉、地質遺産、伝統文化…とたくさんあります。教員として働いてみて、人口が日本で一番少ない県だからこそ、地域と教員の一体感はどこにも負けないと強く感じています。授業や部活動など生徒と関わる日々は、とても楽しく充実しており、生徒たちが成長するにはどうすればいいか、授業はどんなふうになれば伝わるかと自分自身も学び続け、成長することができます。教員というかたちと一緒に鳥取県を盛り上げていきましょう！一緒に働ける日を楽しみにしています！



特別支援学校教諭 ニックネーム はなはな (県内出身)

私は地元である、鳥取県で教師をすることを決めました。働き始めると、授業について一緒に悩んでくださる先生、楽しく雑談して下さる先生たちに囲まれ、鳥取県で教師になって良かったと感じる日々です。やっぱり人が温かい、素敵な鳥取県だなと思いました。また、鳥取県は自然豊かで、春夏秋冬の景色を楽しむことができます。そして海の幸、梨など調べれば調べるほどおいしいものもあります！日帰り温泉施設もあり、休日に友だちと利用して体を癒すことも良いのでは。魅力たっぷりの鳥取県で、皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています！



養護教諭 ニックネーム リー (県内出身)

私は他県で養護教諭として働いていましたが、生まれ育った鳥取県で働きたいとUターン就職しました。今まで気づかなかった鳥取の魅力がたくさんあり、それを見つける度に嬉しくなります。鳥取県は働きやすい環境が整っていると感じます。校内だけでなく、近隣の養護教諭同士で情報共有や研修を受ける機会が多くあり、困った時にはすぐ相談できます。また夏休み等にはまとまった休みが取りやすく、リフレッシュして仕事に取り組むことができます。全校生徒の心身の健康を支える養護教諭は、日々喜びややりがいのある素敵な仕事です。その魅力をぜひ鳥取県で味わってください。